

オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定

【概要】

- 1 本県の草地更新は、2番草収穫後、8月下旬から9月上旬に行われるのが一般的ですが、温暖化に伴う秋季の高温傾向により、更新適期が延長されることが考えられます。そこで、本県の基幹牧草2草種について、播種の晩限を検討しました。
- 2 1番草の収量を確保するための播種の晩限は、オーチャードグラスでは9月下旬(有効積算温度(5℃)で約250℃以上)、チモシーでは10月中旬(有効積算温度(5℃)で約120℃以上)と推定されます。

草種	播種時期			
	9月中旬	9月下旬	10月中旬	10月下旬
オーチャードグラス				
チモシー				



オーチャードグラス播種晩限



チモシー播種晩限

図 播種翌年の萌芽時の状況 (4月)

【試験データ等】

表 播種後から調査時(11月中旬時)までの5℃以上有効積算温度(℃)と翌年1番草乾物収量(kg/10a)

		9月中旬		9月下旬		10月中旬		10月下旬		11月中旬	
		有効積算温度	1番草収量								
OG	R3 播種	454	349	280	279	124	1	72	1	8	5
	R4 播種	437	377	253	237	123	0	54	0	13	0
	R5 播種	504	578	300	380	186	4	94	0	0	0
TY	R3 播種	454	774	280	567	124	244	72	136	8	50
	R4 播種	437	676	253	673	123	370	54	21	13	2
	R5 播種	504	581	300	562	186	241	94	60	0	-

*OG: オーチャードグラス、TY: チモシー

【令和7年度成果】オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定 (R7-指-29)